地元・地方大学の相互協力で、洋上風力の社会実装に備えた 大学教育基盤の強化と大学アライアンスの検討

(地元の期待に応えつつ競争力を生み出すための連携)

資源エネルギー庁「洋上風力発電人材育成事業」の活用検討

事業名:「産学のコンソーシアムによる

洋上風力発電大学教育カリキュラム等整備事業」

(サブタイトル):

「地元・地方大学の相互協力による洋上風力の社会実装に備えた産学連携による 大学教育基盤の強化と大学アライアンスの検討事業 ~地元の期待に応えつつ競争力を生み出すための連携~」

【事業内容の概要】

我が国の洋上風力の導入促進に資する人材を輩出するため、大学生・大学院生を対象に、

<u>地元にウインドファームが展開する計画をもつ地方大学が広域に連携</u>し、発電事業者を中心とする産業界とコンソーシアムを形成し、今後ますます必要となる洋上風力の事業開発に携わる高度な専門知識と現場実践力を備えた高度人材の育成のための仕組みやカリキュラムを産学が連携して策定する。

さらに、<u>コンソーシアム</u>に参加している<u>5つの発電事業者</u>の知見、東京大学や日本海事協会など先端研究や技術認証等を行う機関の協力、専門性の高いシンクタンクをパートナーとした国内外の事例調査やコンソーシアムミーティング等により、我が国の洋上風力産業の競争力の強化や地域創生にもつながる海洋開発を担う人材を生み出す「<u>しくみとカリキュラム</u>」を検討する。

検討においては、アジアで唯一の洋上風力の総合的な社会人育成機関「長崎海洋アカデミー」のプログラムを取り入れた学生向けの講座開発や、英国などにみられる企業現場での長期インターンシップ、発電事業者が有するウインドファーム現場と連携した学生教育など、従来の大学教育では実現できなかった新たな手法の導入も検討していく。

学:秋田大学・ 秋田県立大学

産:三菱商事洋上

風力(商用)

学:千葉大学

産:三菱商事洋上 風力(商用)、 東京電力RP (NEDO実証)

学:北九州市立大学

産:九電みらいエナ ジー (商田

ジー (商用、 NEDO実証)

学:長崎大学

産:中部電力(商用) 九電みらいエナ ジー(潮流実証)

学:長崎大学

産:JERA(商用)

(台湾Formosa)

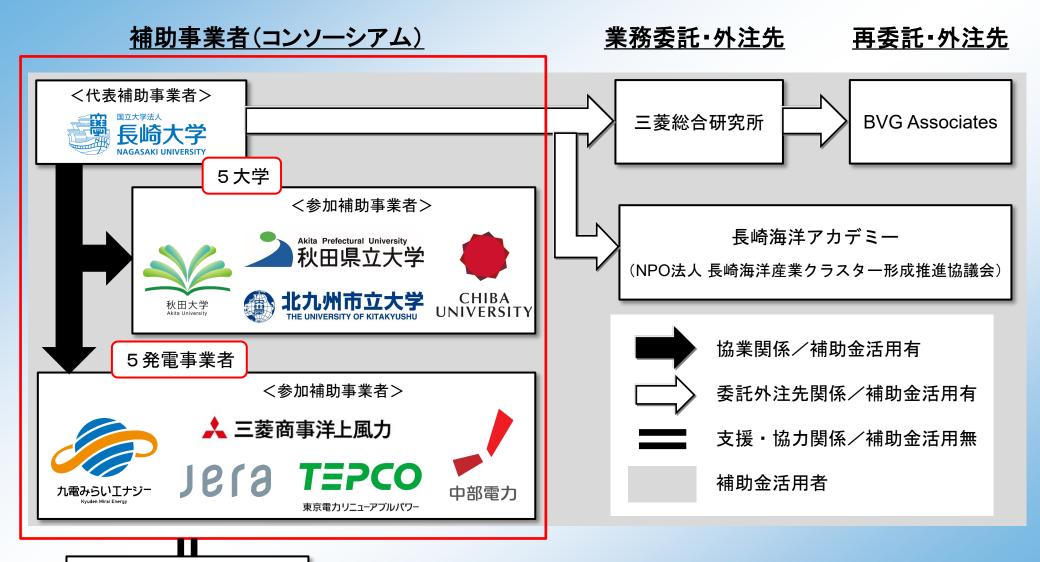
洋上風力の案件形成促進

- 2021年度に長崎県五島沖、秋田県2区域、千葉県銚子沖において発電事業者を選定済。(発電設備容量 合計約170万kW)
- ▶ 2022年9月30日に新たに3区域(長崎県西海江島沖、新潟県村上・胎内沖、秋田県男鹿・潟上・秋田沖)を促進区域に指定。
- 2022年12月28日に、公募を延期している秋田県八峰・能代沖と合わせ、計4区域にて公募開始。(系統容量 合計約180万kW)

促進区域、有望な区域等の指定、整理状況(2022年9月30日)〉

〈促進区域、有望な区域等の指定、管理状況(2022年9月30日)〉					
	区域名			万kW	
П	促進区域	①長崎県五島市沖 (浮体)	1.7	②北海道岩宇・南後志地区沖 ◎北海道石狩市沖
		②秋田県総代市・三和	町·男鹿市沖	47.88	事業者返交済 ⑤北海道島牧沖
		今秋田県由利本荘市	沖	81.9	約170万kW 多北海道建山沖
		④千葉県銚子市沖		39.06	②和点導松前沖 ②青森県沖日本海(北側)
		③秋田県八峰町・能作	(市沖	36	10 百 百 6 8 4 8 4 4 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7
		⑥長崎県西海市江島	迚	42	沖と合わせ、 ②秋田県八峰町・総代市沖 ・総代市沖 ・ ②青森県陸奥湾
		②秋田県男鹿市·潟」	L市·秋田市沖	34	②秋田県県南市・湖上市・秋田市沖
		®新潟県村上市・胎内市沖		35,70	に公参開9日。 約180万kW ②秋田栗由利本荘市沖(北側・南側) ②岩手県久倉市沖 会山形県遊佐町沖
	有望 区域	⑨青森県沖日本高(-t((i)	30	②新潟區 一市・油内市沖
		②青森県沖日本海(南側)		60	②雷山県東部沖 ②福井県あわら市沖。 ②福岡県饗殿沖
		@山形県遊佐町沖		45	
		②千葉県いすみ市沖		41	②/生涯即用于44年7月
		②千葉県九十九里沖		40	②任業県九十九皇庫 ②信崎県西海市江島湾 ②千葉県いすみ市沖
		(8:1) 海道権山沖	の岩平県久然市沖 (海体)		①長崎県五島市沖
	定金 経解性 んでは る区域	四北海道岩宇・			
		南袭志地区沖	②福井県あわら市沖		台湾
		医北海道島校沖	②福岡県郷瀬沖		[凡例]
		②北海道松前沖	②佐賀県唐津市沖		※下線は2022年度に新たに追加した区域参有壁な区域●一定の準備段階に進んでいる区域
		②北海道石穷市沖 ②春森里陸美濟	②富山里東部沖 (前床·洋体)		事業者の計画に基づく発電設備出力量、それ以外は 系統確保容量
ч		企画技術(3)を 権			水机键体台里

事業実施体制(案)



<協力者>

東京大学,日本海事協会

<将来の目指す姿>

「洋上風力分野において、大学と産業界の間で、人材育成や人材供給のエコシステムが形成され、高度人材が継続的に供給されることにより、事業開発の拡大はもとより、新たなコンセプトや新技術の導入が促進され、競争力のある洋上風力産業が創出されるとともに地方創生型の海洋開発が実現している。もって、洋上風力分野が学生にとって魅力ある産業となっている。」

<令和4年度>(案)

【骨子案の策定を目指す】

- ・人材育成に係る大学と産業界の連携のしくみと教育カリキュラムの骨子案を策定する。 骨子案では、
 - 大学及び産業界のコミュニケーションの場の確立
 - カリキュラムのコンセプト確立
 - ・既存リソースの棚卸
 - 国内外事例調査
 - ・長崎海洋アカデミーの教育コースの大学教育への活用策
 - ・フィールド連携やPBL(Project Based Learning)手法
 - 長期インターンシップ手法
 - ・教育提供手法 などの情報や考え方を整理



コンソーシアム全体会議

洋上風力発電人材育成事業の紹介(海洋教育フォーラム @出島メッセ長崎)









